

ふなみち

2023年
1月31日(火)
第3576号

船橋市役所
職員労働組合
発行責任者
青木 賀一
編集責任者
神 義明
TEL047(436)3093
fax(436)3091
Eメール
f-kumiai@alpha.
ocn.ne.jp

22秋闘 副市長交渉 悪循環にならないよう しっかいと採用していくことが大事

組合は、22秋闘年末要求回答を受け、昨年職員課長交渉、総務部長交渉、年明け1月10日(火)に西水副市長と交渉を行いました。交渉概要を掲載します。

交渉冒頭、西水副市長から職員への感謝と、職員の声にきちんと耳を傾けていくことでよりよい市政にしていきたいとの言葉がありました。

会計年度任用職員の処遇

組合 西水副市長とは初めての交渉になる、組合の認識を含めた話を進めたい。中核市の船橋は近隣市と比べて行政規模もとても大きい。副市長が前職で携わっていたJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)でも、会計年度任用職員として入っている。その他に保健所の専門職や本庁事務職、保育園や放課後ルーム、福祉作業所など、職場は多岐にわたる。人数も会計年度任用職員は非常に多い。任用制度が始まってからの問題はこれまでも話をしてきているが、正規職員の課題につながる要員不足が挙げられる。定着率の課題、会計年度任用職員が行なう業務範囲を正規職員の把握不足から起る課題等で交渉を続けている。

12月20日閣僚会議で決定した方針で、勤労手当について検討が始

まっている。先日の総務部長交渉でも「内容がどう決まるか待ちたい、そのうえで次年度以降の制度について協議を

していきたい」と課題として捉えていることを確認している。扶養の内と外の課題、採用のしづらさなど、他市においても同様の状況で、こういった声が今回の勤労手当の検討につながっている。

会計年度任用職員制度がスタートする際、国の通知が遅く労使での協議時間がほとんどなくなった。その後、職員課も人事課と分かれ、今後協議を進めるにあたり支障が出る懸念がある。総務部担当の西水副市長にあつては、勤労手当を含めた会計年度任用職員制度の協議について総務部として職員課と人事課と連携をとった真摯な対応を求めている。いかがか。

副市長

会計年度任用職員の皆さんは4,200人いると聞いている。市政執行に当たり活躍いただいている。従事されている職によって、本人が希望する働き方、職場として働いている方いろいろあると思う。処遇の改善は市にとって非常に重要な課題になると思っている。そのうえで、勤労手当は今後真摯に協議していく、部長が申し上げたとおり、しっかりと皆さま

んと協議していきたい。職員課と人事課、課が分かれても同じ総務部のなかなのでしっかりと連携を取って皆さんと議論していくという事は間違いない。

組合

心強い言葉をもらった。会計年度任用職員の働き方が常勤の働き方・働きやすさにつながり、最終的には市民サービス・市民の求める行政サービスに大きく関わると考えている。もつ一つの課題、病休の有給も含め春闘以降、職の整理もしながら協議していきたい。

職員の欠員について

組合 本庁はじめいろいろな職場の課題である。特に欠員が多い保育園の状況を知ってもらいたい。

若い女性の多い職場なので、結婚、出産も多い。産休育休中は、代替職員が配置されることになっているが、毎年夏ごろから来なくなる。職員課も「会計年度任用職



員の年度途中の採用が難しい事は判っている」と言っている。年度途中で産休に入ることが分かっている人の代替は4月に採用を。現在、産休育休、病休者の代替の欠員が25人程出ている、このような状況が10年以上続いている。

有給取得も、本庁職員の半分程度。時短も、欠員があることで、申請しても取れない。職員配置基準も、国の最低基準に近い厳しい状況の中、足りない人の分を埋めるため頑張り続け、疲弊し、さらに病休者がでる負の連鎖が起きている。子育てしながら働くには厳しい職場環境となり、退職してしまう人も多い。

保育園では今年度、本来正規職員で配置されるべきところに会計年度任用職員が75人配置されている。正規職員は、朝7時から夜7時の間を当番で時差勤務しているが、会計年度任用職員はできない。仕事に違いがある。朝夕だけ子どもを見る職員も70人くらい欠員のため、超勤で対応している。

市民サービスは、待機児童解消だけでなく、入所している人に対して「コロナ等の休みが重なり最低基準に満たないような状況下で事故が起きれば、市の責任が問われるのではないか。私たちは『子どものために』と『熱意』や『やりがい』で頑張っているが、限界を感じている。

放課後ルームでも、同様に船橋の職員配置基準に達していない。保育園は、職員がいなければ

もの入所はないが、放課後ルームは、職員が足りなくても定員の120%まで入所している。待機児童が多ければ新しく放課後ルームを作るが、現有職員がそちらに移るので元の職場は職員が減る。こういった状況で働いている職員に対してどう考えているのか、短期ではなく十数年に及ぶこの状況をどのように考えているのか。

副市長 働く人にとって保育園で預かってもらえないことはありがたいことだと身にしみて判っている。預かってもらえないときは大変だったことは実感している。

保育士の皆さん、放課後ルーム職員の皆さん、人が足りない状況の中で勤務を懸命にされているのは頭が下がる思いです。市としては、産休や休暇などについて、子どもを産み育てやすい職場環境を作る重要性というのは強く認識しているところです。そのためにも育休の代替をはじめとした人員の確保、常勤・再任用・会計年度それぞれ職員の適切な配置できるよ

うに考えているところです。

一方で採用は厳しく、保育士、放課後ルームに限らずいろいろな職員採用について内定を出しても辞退するということがあり、なかなか埋まらない。

今後、見相もできる。保育士など人員について計画的に採用しなければいけない。なかなか苦しい中ではあるが採用をするべく総務部として頑張っているところ。苦しいと思うけれど、もう少し、ご

理解いただきたいと考えている。

組合 採用されても「産み育てやすい職場」ではなく、時間が取れない、代わりがあらざる休めないなど、子育てしながらの勤務ができず辞めしてしまう職員も多い。そういったことから働きやすい職場、産休代替が必ず来る、会計年度がきちんと配置されるということがすごく大事。できるだけ正規職員で採ってもらいたい、欠員が出ない職場にってもらいたい。

副市長 おっしゃるように悪循環にならないようにしっかりと採用していくことが大事だと思う。応募者全てを採用するものではないが、マンパワーの確保をしなければならぬ。

組合 見相ができると職員は必要になる。保育園から行く職員も出てくると思う。保育園としては経験のある職員が減る。厳しい職場であるということをご理解いただき「欠員が出ない」ようにさえしてもらえれば全く違う事になってくる。今の欠員全て埋まるように採用を。

組合 時間となったので終わるが、今回は特に保育園の事例を挙げ交渉した。他の部署でも人員不足は発生している。そこからメンタル不調になり休みに入ってしまう職員もいる。早急な取組みと改善を求め市長交渉を要求し終わる。



第1回 中央委員会 を開催します

中央委員会は大会に次ぐ大切な会議で年3回開かれます。この数年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に、当時の状況を見ながら、リアル開催と書面開催を選択しています。新体制になって初の中央委員会はリアル開催を行います。(状況により、書面開催に変更の場合もあります。)これまでのまとめと春闘のとりくみについて話し合い、確かめる場です。

ぜひご参加いただき現場の意見をお聞かせください。
開催日時：3月7日(火) 18:00から1時間程度
場所：本庁 11階 大会議室



厚生部ニュース

TOHOチケット ¥1,300に改訂

以前ご案内しましたTOHOチケット価格改定ですが、在庫チケットの販売が終了しましたので、1枚 ¥1,300円 となりました。よろしく願いいたします。

コンサート他幹旋のご案内

- ◇東京労音からチケット幹旋のご案内チラシが届きました。お申し込みは組合員ご本人様から直接”Ro-Onチケット”に電話をしてください。
- ◇新たに明治座と幹旋契約をしました。4月5月の歌舞伎公演をご案内です。こちらは組合にお申し込みください。



どちらもご利用いただけるのは組合員とその家族のみです。

職評三五月一及

◇『勤勉手当』が出るとどうなるの？

先日の部長交渉でも話題としましたが、その後新聞報道などをご覧になった方もいるかと思えます。

『自治体非正規職員にボーナス拡充の方針 総務省格差是正へ24年度にも』(1月23日付東京新聞 見出し)

『非正規公務員ボーナス拡充 総務省方針自治体、勤勉手当可能に』(1月23日付千葉日報 見出し)

会計年度任用職員の制度は2020年度に導入され、業務は多岐にわたり、自治体運営に欠かせないとして、国内の複数の県や市などが、国に会計年度任用職員に勤勉手当が支給できる制度の確立を求めたことから、今回の閣議決定につながりました。総務省は格差を是正すれば、業務への意欲が高まって行政サービスが向上し、住民にもメリットがあるとみています。正規職員と同様に勤勉手当が月給の1.0ヶ月分上乗せとなれば、一定の収入増が見込めます。これにより採用増につながり、正規職員の負担減も見込めます。今後の交渉が大事です!!